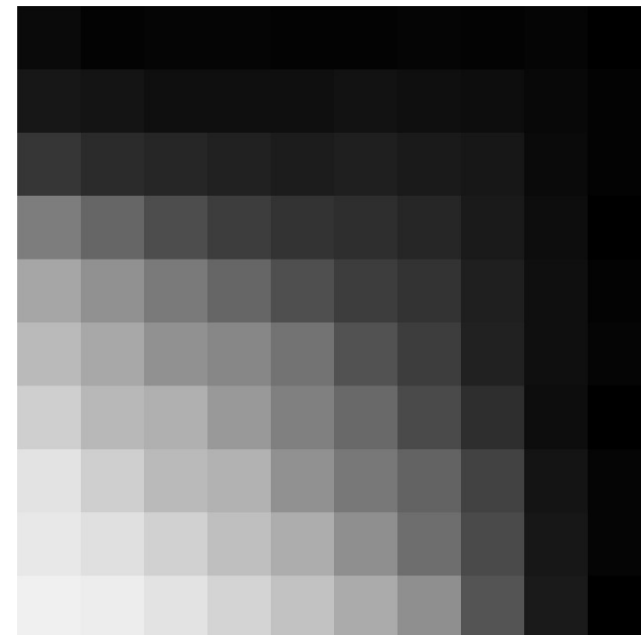


3836 東証プライム市場

# 株式会社アバントグループ

2025年6月期 中間決算説明会

2025年2月19日



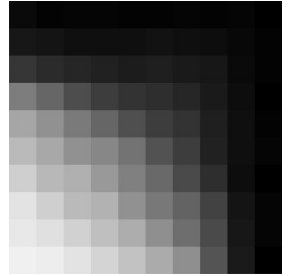
# INDEX

## I. 財務報告

## II. 「BE GLOBAL 2028」の進捗

\* 資料内の数値は表示単位未満を切捨てて表示しております。

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断によるものです。しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製または転送などを行われないようお願いいたします。



# I. 財務報告

# 2025年6月期 第2四半期累計 決算ハイライト

## 売上高

**14,011** 百万円

(前年同期比 + **19.3%**)

連結決算開示事業、DX推進事業、経営管理ソリューション事業の3事業全てが売上成長を実現したことに加え、前年第1四半期に経営管理ソリューション事業において組織再編に伴い売上成長が抑制されていた反動もあり増収

## 営業利益

**2,537** 百万円

(前年同期比 + **34.2%**)

業容拡大に応じた人件費および及びIT費用、受注増対応の外注加工費、将来成長を実現するための投資性の費用が増加したものの、ソフトウェアビジネスの成長による利益率の向上及び増収効果、前年第1四半期に経営管理ソリューション事業の利益水準が低くとどまったことによる反動等もあり増益

## 当期純利益

**1,584** 百万円

(前年同期比 + **30.2%**)

営業利益の伸張があり、当期純利益でも増益

## 2025年6月期業績予想

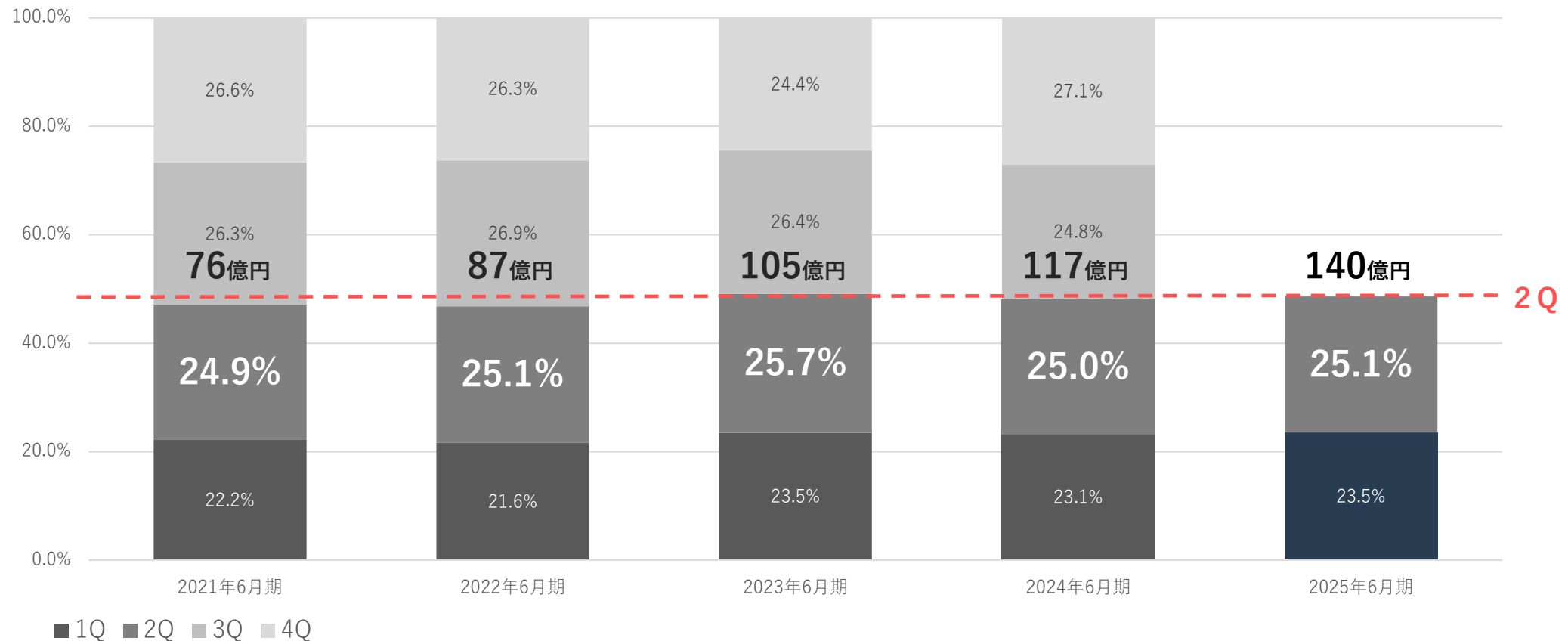
- 業績予想および期末配当予想の変更は無し
- 2025年6月期は、売上高**28,800**百万円（前年同期比+**17.9%**）、営業利益**4,900**百万円（同+**19.5%**）、当期純利益**3,350**百万円（同+**17.5%**）を予想
- 期末配当は、中期経営計画期間内の目標として掲げている純資産配当率8%の達成を志向して**1株あたり25円**を予想

# 決算概要

(百万円)	2025年6月期 第2四半期	前年同期比		2025年6月期 第2四半期累計	前年同期比	
		前年実績	増減率		前年実績	増減率
売上高	7,235	6,096	18.7%	14,011	11,742	19.3%
売上原価	3,902	3,296	18.4%	7,691	6,569	17.1%
売上総利益	3,332	2,799	19.0%	6,319	5,173	22.2%
売上総利益率	46.1%	45.9%	0.1pt	45.1%	44.1%	1.0pt
販管費	1,886	1,590	18.6%	3,781	3,282	15.2%
営業利益	1,446	1,209	19.6%	2,537	1,890	34.2%
営業利益率	20.0%	19.8%	0.1pt	18.1%	16.1%	2.0pt
純利益	968	733	32.0%	1,584	1,216	30.2%
純利益率	13.4%	12.0%	1.4pt	11.3%	10.4%	0.9pt
EBITDA	1,566	1,328	17.9%	2,783	2,126	30.9%
EBITDAマージン	21.7%	21.8%	-0.1pt	19.9%	18.1%	1.8pt

# 通期売上高見通しにおける進捗状況

- FY25 2Q累計売上高は通期売上高見通しの48.6%で進捗しており、過去4年間と同等の水準で推移



# グループコスト構造

- 活発な採用活動により採用費および人件費は増加
- 日本企業の中長期的なトレンドとなりつつある「データ及びデジタル技術を活用した企業経営・企業活動の高度化」を通じた競争力維持・強化のための投資ニーズが引き続き堅調。この需要に対応すべく外注費は増加
- 人員増とクラウド化対応（顧客向け、社内環境）によりIT費用も増加

(百万円)	2025年6月期 第2四半期	前年同期比		2025年6月期 第2四半期累計	前年同期比	
		前年実績	増減率		前年実績	増減率
売上高	7,235	6,096	18.7%	14,011	11,742	19.3%
人件費	3,247	2,846	14.1%	6,471	5,730	12.9%
採用費	143	102	39.9%	289	233	24.0%
外注費	1,206	981	22.9%	2,397	2,007	19.4%
IT費用	365	310	17.7%	753	624	20.7%
事務所費用	227	216	4.9%	465	428	8.7%
その他	599	429	39.5%	1,098	830	32.3%
総費用	5,789	4,886	18.5%	11,473	9,852	16.5%
営業利益	1,446	1,209	19.6%	2,537	1,890	34.2%
営業利益率	20.0%	19.8%	0.1pt	18.1%	16.1%	2.0pt

# 事業セグメント別業績

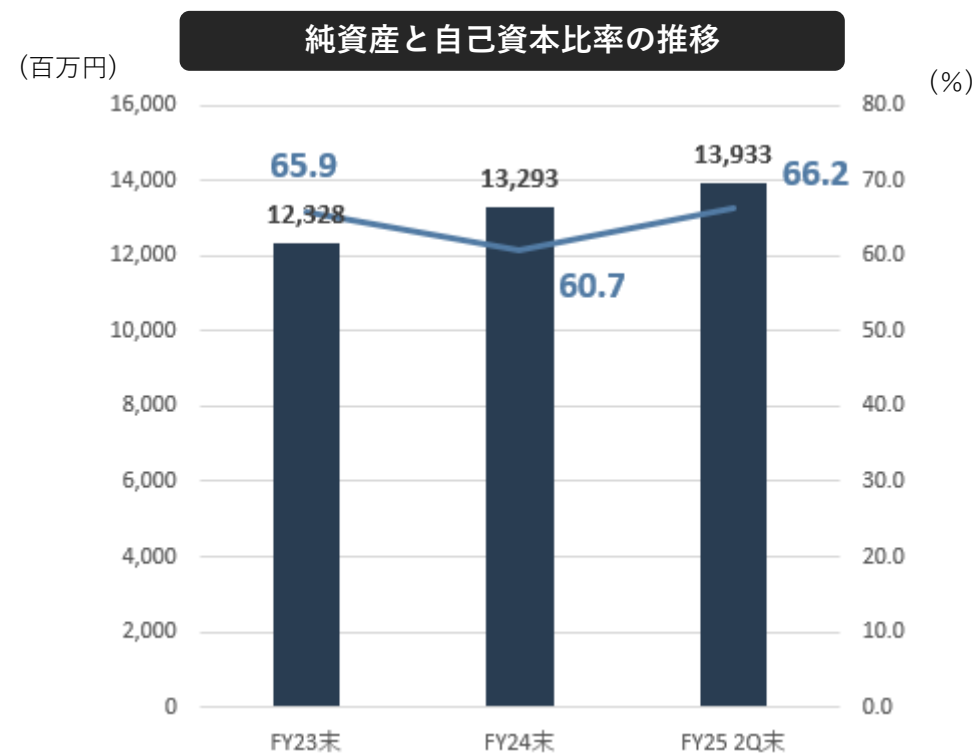
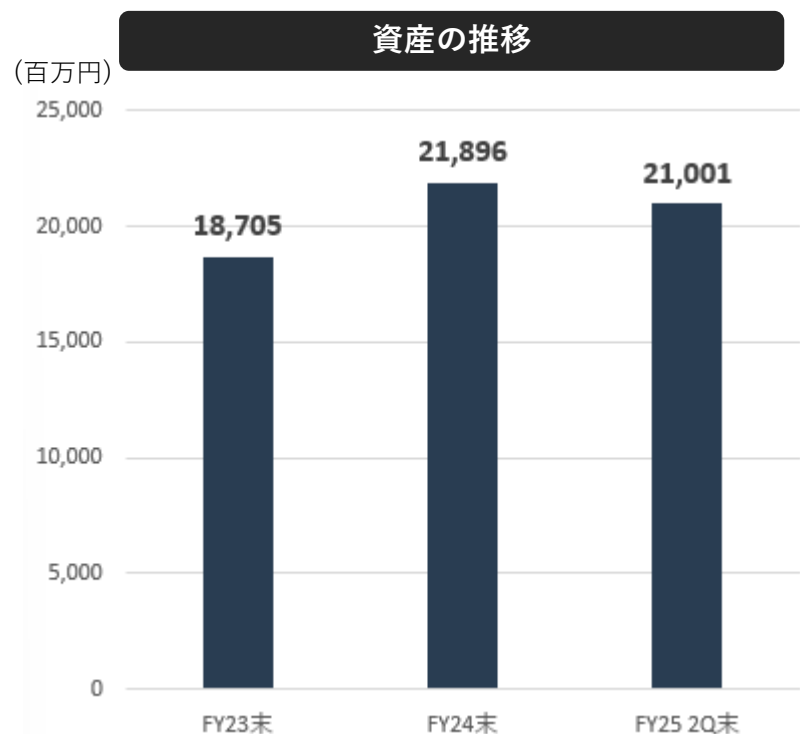
- 当期2Qは当期1Qからの傾向が継続し、すべての事業セグメントで増収増益。  
当期2Q累計は、前期1Qの利益水準が低くとどまった経営管理ソリューションの増加率が特に高い
- 受注額および受注残についても、すべての事業セグメントで対前年プラス

	(百万円)	2025年6月期 第2四半期	前年同期比		2025年6月期 第2四半期累計	前年同期比	
			前年実績	増減率		前年実績	増減率
連結決算開示	売上高	2,160	1,858	16.2%	4,246	3,606	17.7%
	営業利益	618	493	25.5%	1,155	857	34.8%
	営業利益率	28.6%	26.5%	2.1pt	27.2%	23.8%	3.4pt
	受注額	2,034	1,739	16.9%	4,406	3,561	23.7%
	受注残	4,841	3,904	24.0%	4,841	3,904	24.0%
DX推進	売上高	2,644	2,193	20.6%	5,125	4,365	17.4%
	営業利益	509	410	24.1%	947	758	24.9%
	営業利益率	19.3%	18.7%	0.5pt	18.5%	17.4%	1.1pt
	受注額	2,548	2,078	22.6%	4,975	4,105	21.2%
	受注残	1,919	1,445	32.8%	1,919	1,445	32.8%
経営管理ソリューション	売上高	2,517	2,155	16.8%	4,817	4,018	19.9%
	営業利益	560	427	31.1%	931	576	61.6%
	営業利益率	22.3%	19.8%	2.4pt	19.3%	14.3%	5.0pt
	受注額	2,299	1,995	15.2%	4,375	3,618	20.9%
	受注残	3,564	2,713	31.3%	3,564	2,713	31.4%



# 財務状況の推移

- 総資産は前期末比895百万円減の21,001百万円。これは、前期末収計上されていた法人税等の還付などによる流動資産の減少591百万円、及びソフトウェアの減少155百万円、繰延税金資産の減少165百万円などによる
- 純資産は、親会社株主に帰属する中間純利益1,584百万円の計上、剰余金の配当708百万円の支払いにより、前期末比639百万円増の13,933百万円。自己資本比率は66.2%と高水準で推移



# キャッシュフローの状況

- 営業キャッシュフローは、増加要因の主な内訳は、税金等調整前中間純利益2,646百万円、法人税等の還付額339百万円、減価償却費245百万円であり、減少要因の主な内訳は、法人税等の支払額985百万円、賞与引当金の減少額587百万円、契約負債の減少額391百万円、未払金及び未払費用の減少額262百万円、売上債権及び契約資産の増加額238百万円
- 財務キャッシュフローは、支出の主な内訳は、配当金の支払額708百万円、自己株式の取得による支出351百万円であり、対前年同期比で26百万円の使用増

(百万円)	2025年6月期 第2四半期	前年同期比		2025年6月期 第2四半期 累計	前年同期比	
		前年実績	増減額		前年実績	増減額
営業CF	1,399	478	921	851	349	501
投資CF	△ 66	△ 145	79	△ 185	△ 239	54
フリーCF	1,332	332	1,000	666	110	556
財務CF	△ 7	△ 5	△ 2	△ 1,052	△ 1,025	△ 26

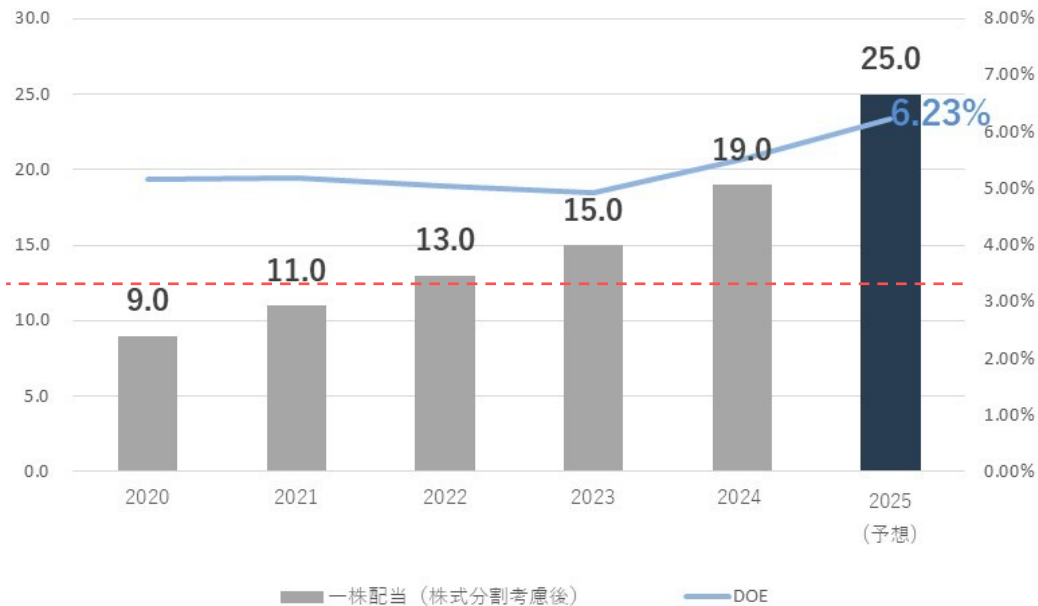
## 2025年6月期 通期業績予想

- 2025年6月期についても、売上高は対前年比17.9%増の28,800百万円と増収を見込む
- 営業利益は、対前年比19.5%増の4,900百万円、  
当期純利益は、対前年比17.5%増の3,350百万円と増益を見込む

	(百万円)	2024年6月期 (実績)	2025年6月期 (予想)	増減額	増減率
売上高		24,418	28,800	4,381	17.9%
営業利益		4,099	4,900	800	19.5%
営業利益率		16.8%	17.0%	-	-
当期純利益		2,850	3,350	499	17.5%

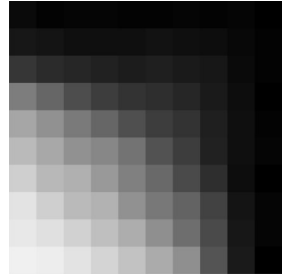
# 株主還元

- 2024年6月期のDOEは5.5%で、東証上場企業平均（12ヶ月）の3.2%を大幅に上回る水準を達成
- 2025年6月期の1株当たり配当は、安定的な配当を継続して行う方針に伴い、1株当たり25円の予想。DOEは6.23%となる水準



## 株主還元の考え方

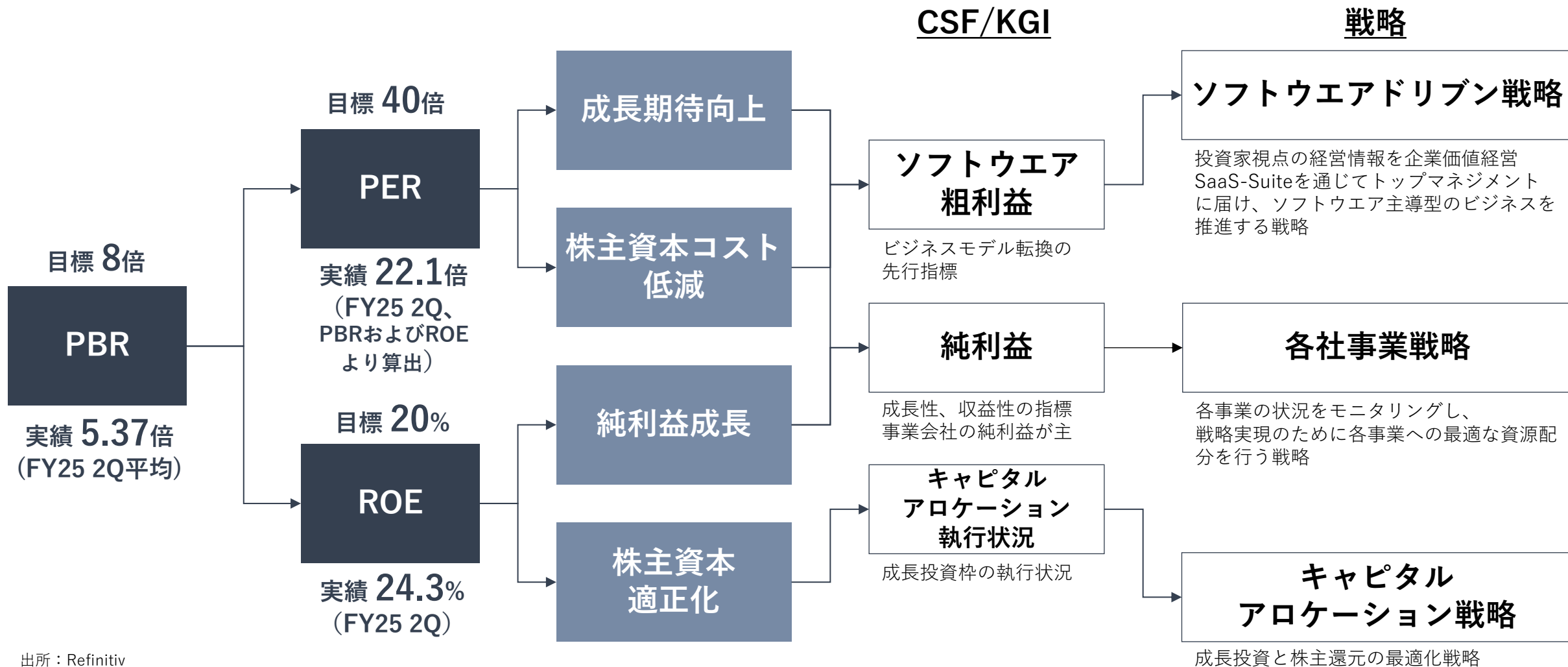
- 配当は株主還元政策の重要事項の位置づけ
- 純資産配当率などの指標に注目することで、毎期の業績に大きく左右されることなく、配当金額を安定的に維持ないしは向上していくことを指向
- 純資産配当率は東証全上場企業の平均値を常に上回り、新中期経営計画の期間内に8%の達成を目指す



## II. 「BE GLOBAL 2028」の進捗

# PBRツリーを用いた戦略実行モニタリング

- ソフトウェア粗利益は対前年同期比で増加、ソフトウェアドリブン戦略のキーとなる製品である TRINITY BOARDの受注も開始



出所：Refinitiv

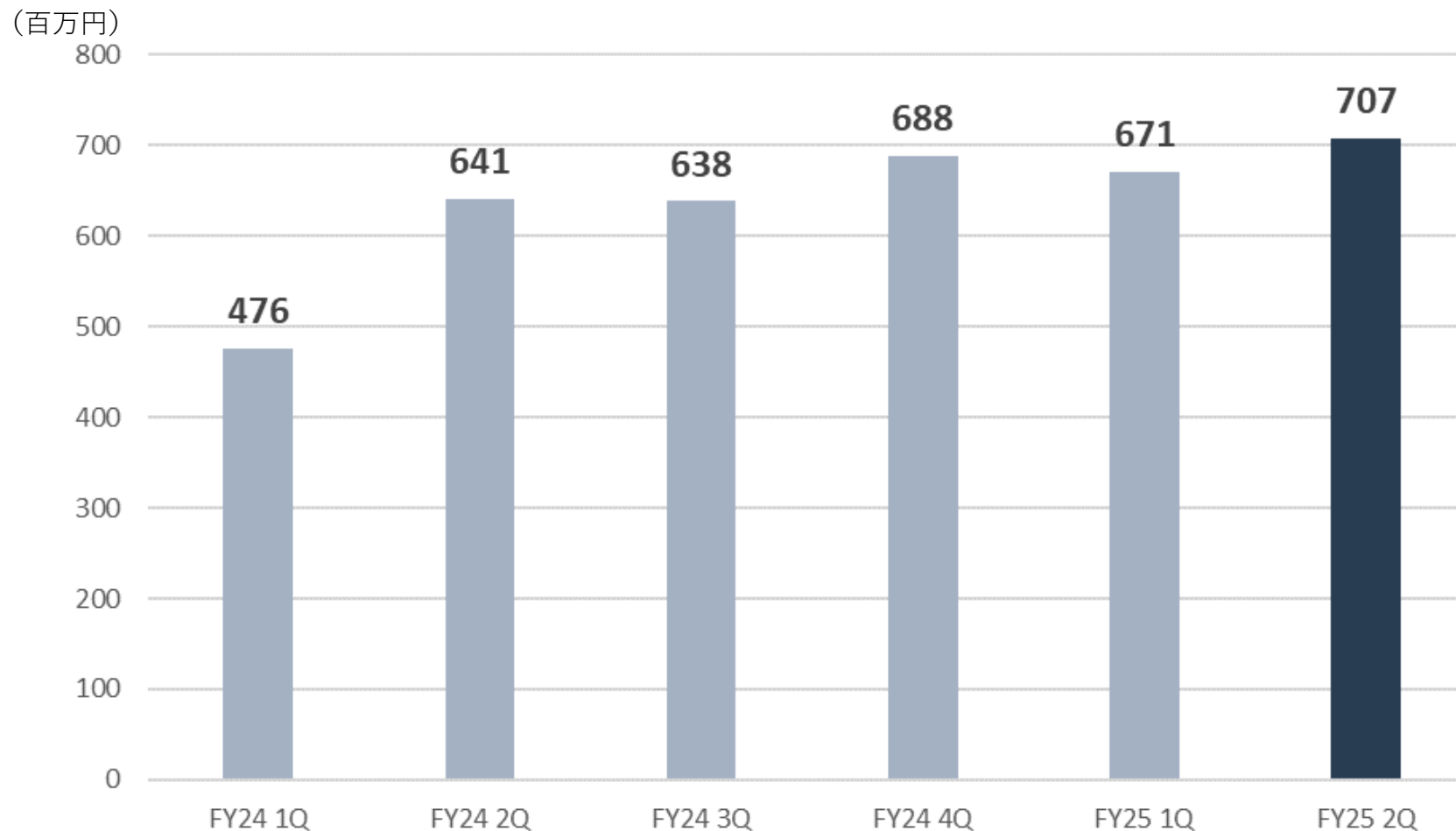
# BE GLOBAL 2028 (BG28) 2年目の計画

- BG28 2年目の計画はBG28 当初計画におけるFY25水準を上回るが、ソフトウェア粗利益はほぼ計画通りに留まる

	FY24 実績	FY25			FY28 計画
		計画	中計比	前年比	
売上高	24,419M	28,800M	+6.8%	+17.9%	40,000~ 45,000M
営業利益	4,099M	4,900M	+19.0%	+19.5%	9,000~ 11,000M
営業利益率	16.8%	17.0%	+1.8pts	+0.2pts	20~24%
純利益	2,850M	3,350M	+25.2%	+17.5%	6,000~ 7,000M
1人当たり営業利益	2.8M	3.0M	+21.8%	+5.6%	3.9M
ソフトウェア粗利益	2,442M	2,474M	+0.7%	+1.3%	5,500~ 6,000M
ROE	22.3%	22.4%	+4.0pts	+0.1pts	20%以上
DOE	5.5%	6.2%	▲0.3pts	+0.7pts	8.1%以上
配当	19円	25円	±0	+31.6%	51円以上

# ソフトウェア粗利益の四半期推移

- ソフトウェア売上高の増加、外注費の減少により前年同四半期比で10.5%の増加、前四半期比で5.5%の増加





# 企業経営に役立つ情報システムを探求しつづけてきた会社

連結会計事業「国内トップシェア」を確立

持株会社制／グループ経営の拡大

BE GLOBAL

政府主導  
イニシアティブ

■連結会計制度  
(2000年3月期～)

■四半期開示義務化  
(2003年4月～)

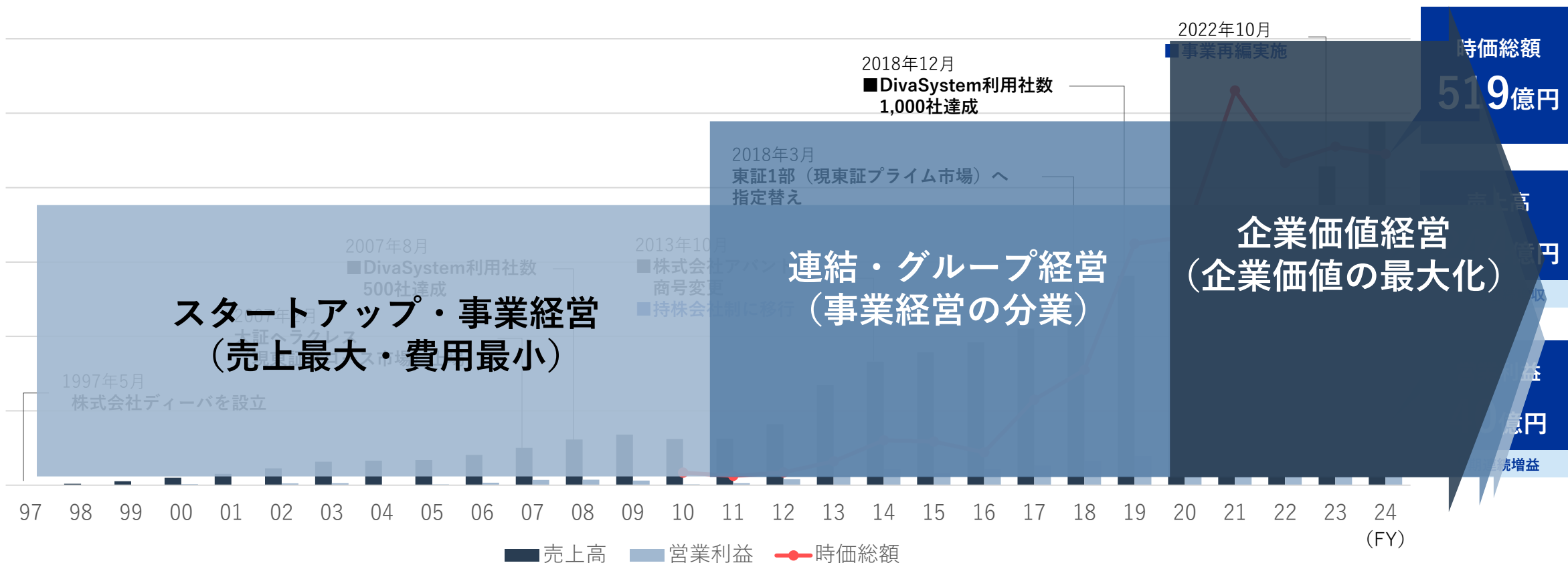
■内部統制報告制度 (J-SOX)導入  
(2008年4月～)

■IFRS任意適用  
(2010年3月期～)

■コーポレート  
ガバナンス・コード  
(2015年6月～)

■グループ・ガバナンス  
実務指針  
(2019年9月～)

■東証より「資本コスト  
や株価を意識した経営  
の実現に向けた対応」  
の要請 (2023年3月～)



# 現在のAVANT GROUPがフォーカスする貢献領域

## オペレーションやビジネスに関するDX

### オペレーション

#### ①オペレーションのデジタル化 (業務の効率化、見える化)

- 手作業の自動化、紙資料のデジタル化
- 情報管理のクラウド化 (見える化)
- コミュニケーションツールの導入等

- #### ②オペレーションの高度化 (業務の効率化、見える化)
- 設備
  - 生産

#### ③顧客接点のデジタル化 (お客様・市場との接点の強化)

- デジタルマーケティング
- 新しい顧客体験の提供等

### ビジネス

#### ④新規デジタル製品・サービスの提供 (製品・サービスの高度化、差別化)

- IoTによる健康管理サービス
- お客様業務のデジタル支援サービス (製品開発サービス等) 等

#### ⑥デジタル・ビジネスモデル変革 (お客様とサードパーティーを結びつけたPF構築)

- 業界プラットフォームビジネス (産業機械PF等)
- デジタル・プラットフォームビジネス
- (e-コマース/SNS/決済の融合等) 等

## 経営に関するDX

### 経営

#### ⑦企業内データ環境の整備 (基幹システムの刷新・最適化)

- メインフレームからオープン系への刷新
- 重複システムの統合等

- SAP
- Oracle
- Fujitsu
- OBIC

#### ⑧企業間データ環境の整備 (バリューチェーン内活動の強化)

- バリューチェーン統合による生産と販売の経営数値連携等

- Blue Yonder
- Oracle
- o9 Solutions

#### ⑨経営の意思決定の高度化 (事業経営、企業経営の意思決定の高度化)

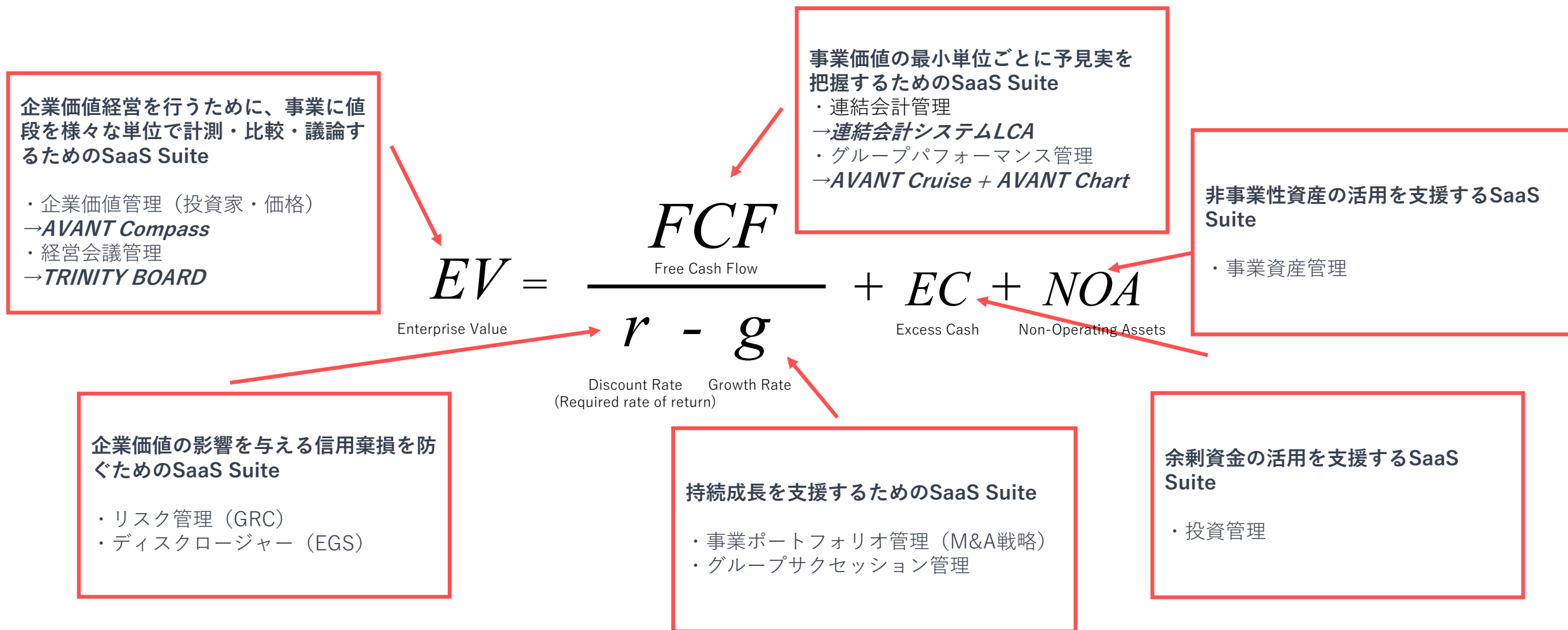
- 事業数値の管理 (P/L数値の見える化)
- 事業ポートフォリオの管理 (事業別P/L、B/S数値の見える化)

- Anaplan
- Tagetik
- Board
- Oracle
- **AVANT GROUP**

連結・グループ経営と企業価値経営で独自の価値提供を行う

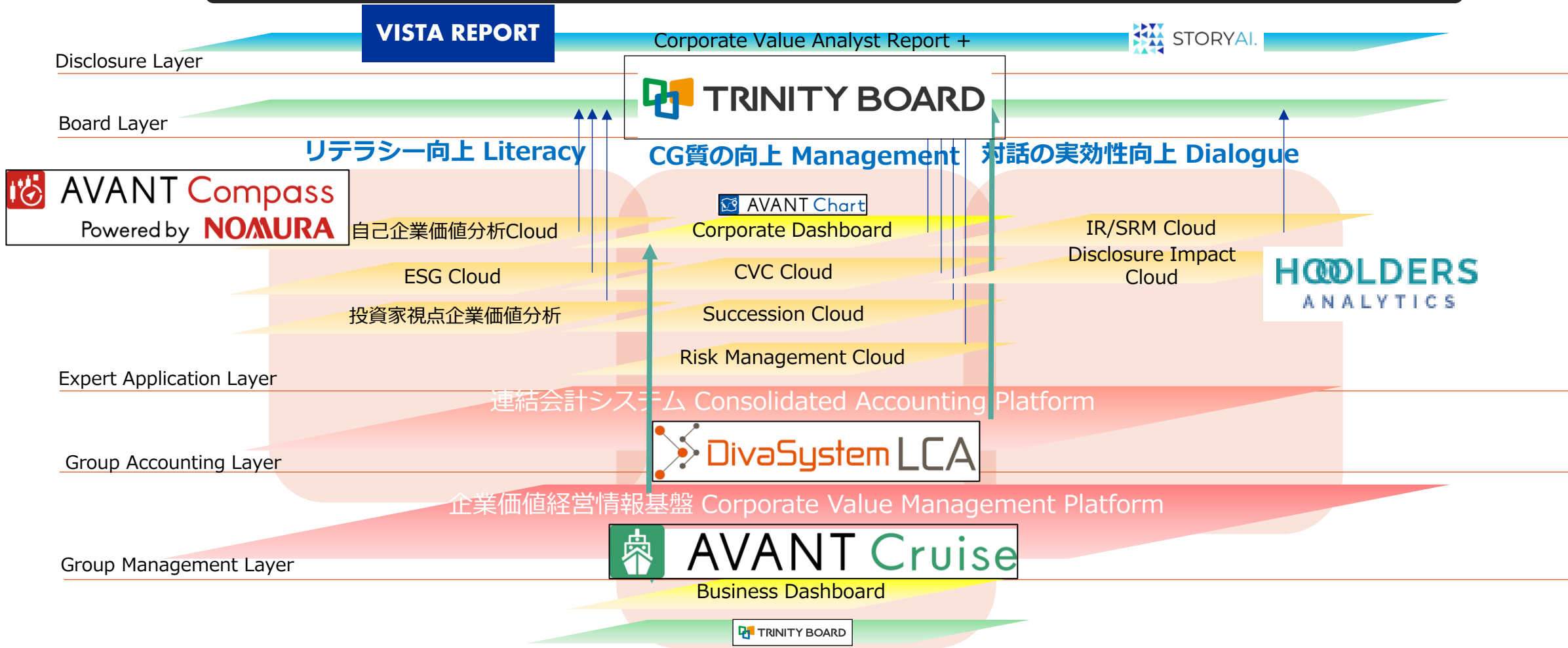
# 企業価値経営SaaS Suite コンセプト

- 複数の事業価値単位を持つ企業の企業価値向上に役立つSaaSの集合体サービスを提供



# 企業価値経営SaaS Suite の可視化

## 投資家との対話 Dialogue with Investors



## 執行との対話 Dialogue with Directors

# TRINITY BOARD およびAVANT Compassの受注状況

ソフトウェア

受注件数

受注のポイント

企業価値経営プラットフォーム



10件

- 取締役会参加者へ資料を共有することにかかる事務局の負荷低減
- 過去資料の検索性をあげ、前回までの議論の振り返りにかかる時間を削減
- 会議中に出たToDoの管理の一元化
- 社外取締役が増加する中での、取締役間の情報の非対称性の解消



5件

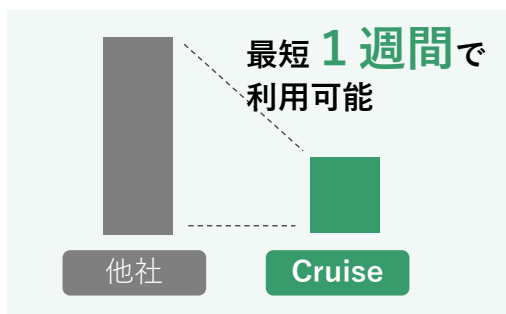
- 証券会社の担当者に算出してもらっていた情報が常時見られる状態に変化
- 従来社内で手作業でやっていたものがシステムによって自動化、結果、数値を出すだけで力尽きていた状態から、分析するところに時間を使える状態になる点
- 野村証券の実務面でのサポートへの期待

注) 受注件数は2025年1月末時点

# AVANT Cruise 「事業別ROICパッケージ」をリリース

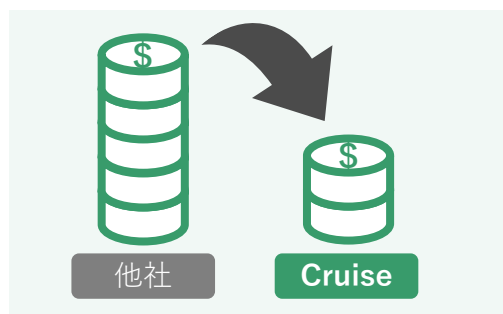
- 2024年12月、これまで多数のお客様で実現してきたAVANT Cruiseでの事業別ROICや関連するKPIの可視化の経験を集約した「事業別ROICパッケージ」をリリース

## 導入レス（完成品提供）



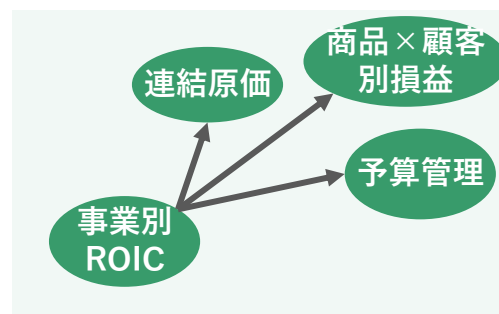
完成品提供のため導入レスで最短1週間で利用開始できます

## 低コスト



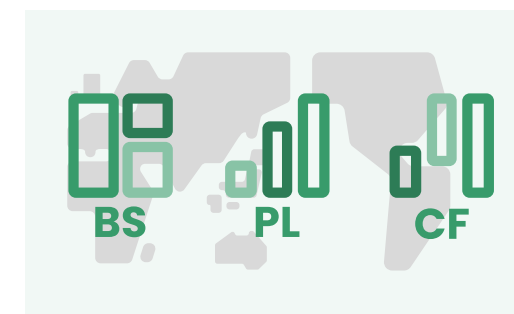
開発費用が不要のため、システム利用料だけで利用開始できます

## 経営管理業務への拡張性



事業別ROICだけでなく、予算・実績・見込管理や商品×顧客別損益管理等、様々な経営管理業務で利用できます

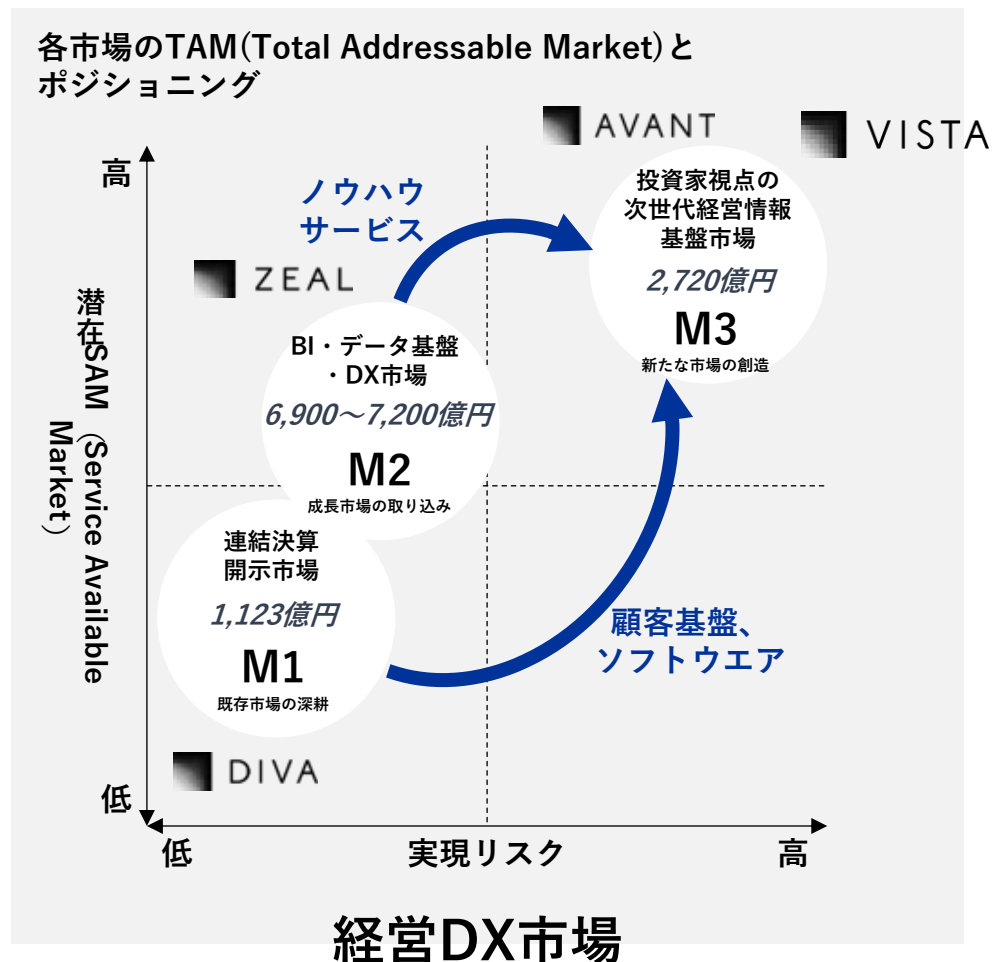
## 連結・グローバルに標準対応



換算、消去等の連結処理が標準提供されており、他通貨の集計に対応しています

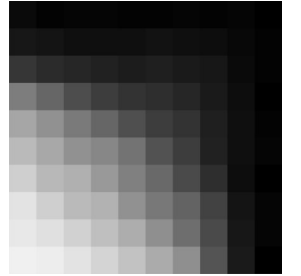
# トピックス：新会社VISTAの設立

- 2024年10月11日に設立し、2024年11月より本格的に事業開始
- M3マーケットの創造を推進するために設立



## ■ 会社概要

社名	株式会社VISTA
設立	2024年10月11日
代表者	代表取締役社長 アンドリュー・フィリップス
資本金	1億円
事業内容	株式市場における個社のポジショニングに応じた経営コンサルティングサービスを提供、持続的な企業価値向上とステークホルダーへの長期的価値創出の実現を支援
所在地	〒108-6113 東京都港区港南2-15-2 品川インターシティ B棟13階



## 参考資料：会社概要

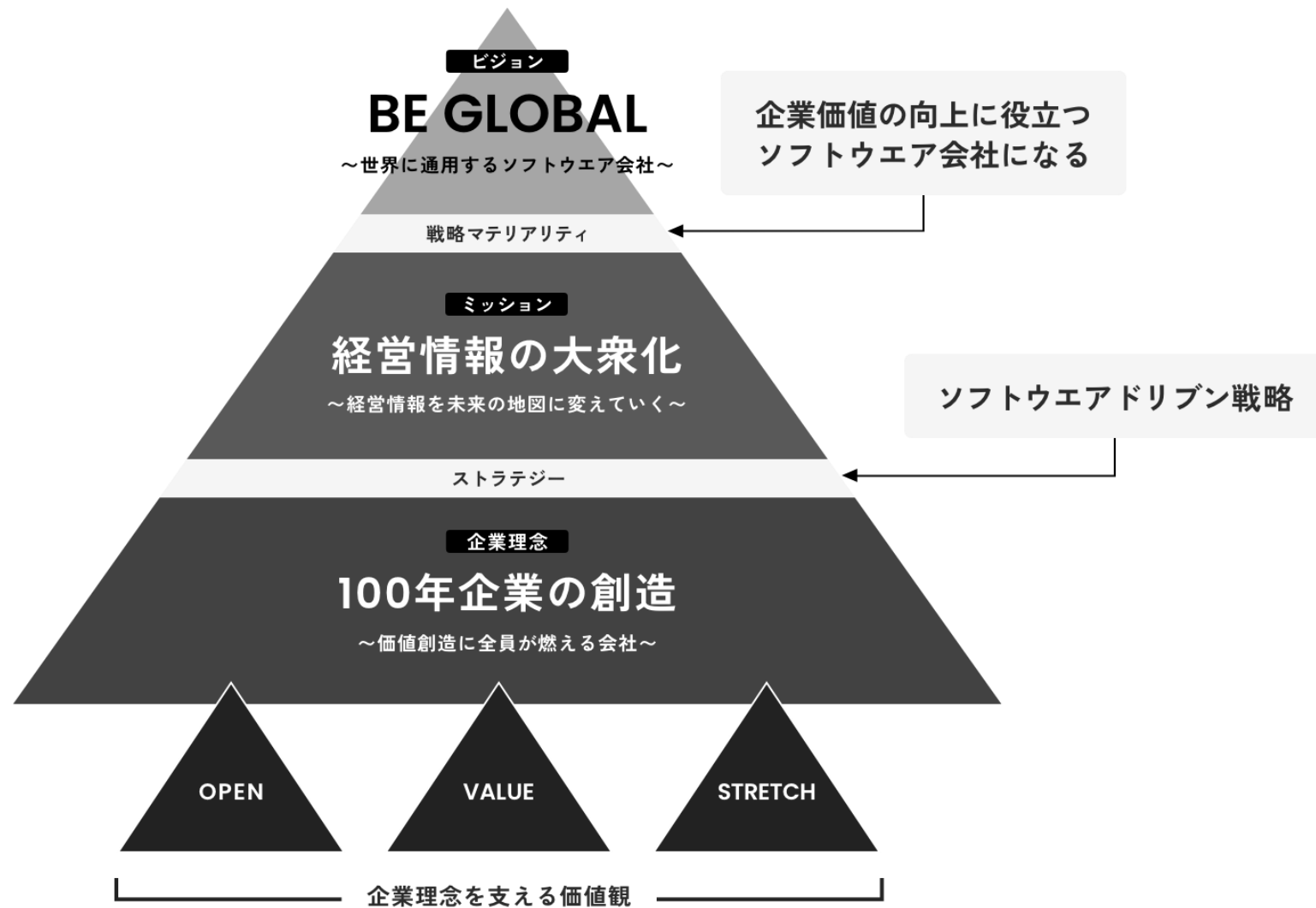


# 会社紹介 アバントグループについて

会社名 : 株式会社アバントグループ (持株会社)  
 創業 : 1997年5月26日  
 代表 : 代表取締役社長 グループCEO 森川 徹治  
 時価総額 : 531億円 (東証プライム、証券コード3836、2024年6月末時点)



# アバントグループの理念体系



# アバントグループはBE GLOBAL実現に向けた次の5年へ

連結会計事業「国内トップシェア」を確立

持株会社制／グループ経営の拡大

BE GLOBAL

政府主導  
イニシアティブ

■連結会計制度  
(2000年3月期～)

■四半期開示義務化  
(2003年4月～)

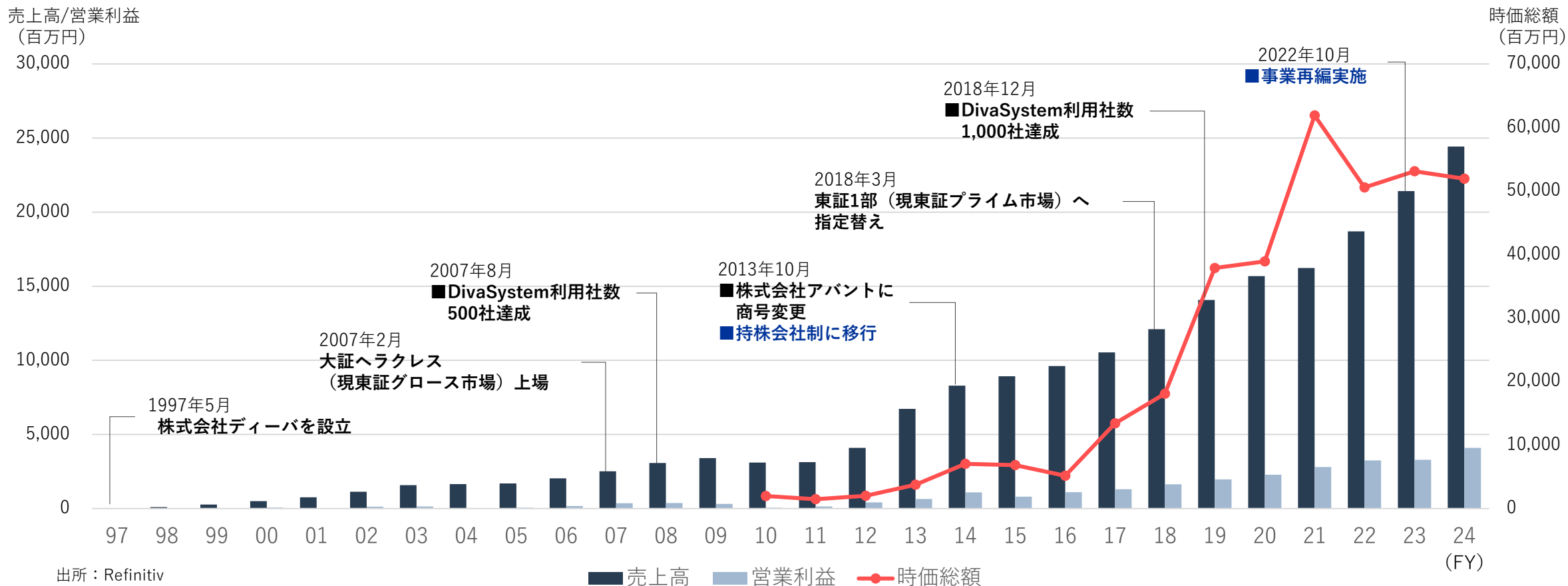
■内部統制報告制度 (J-SOX)導入  
(2008年4月～)

■IFRS任意適用  
(2010年3月期～)

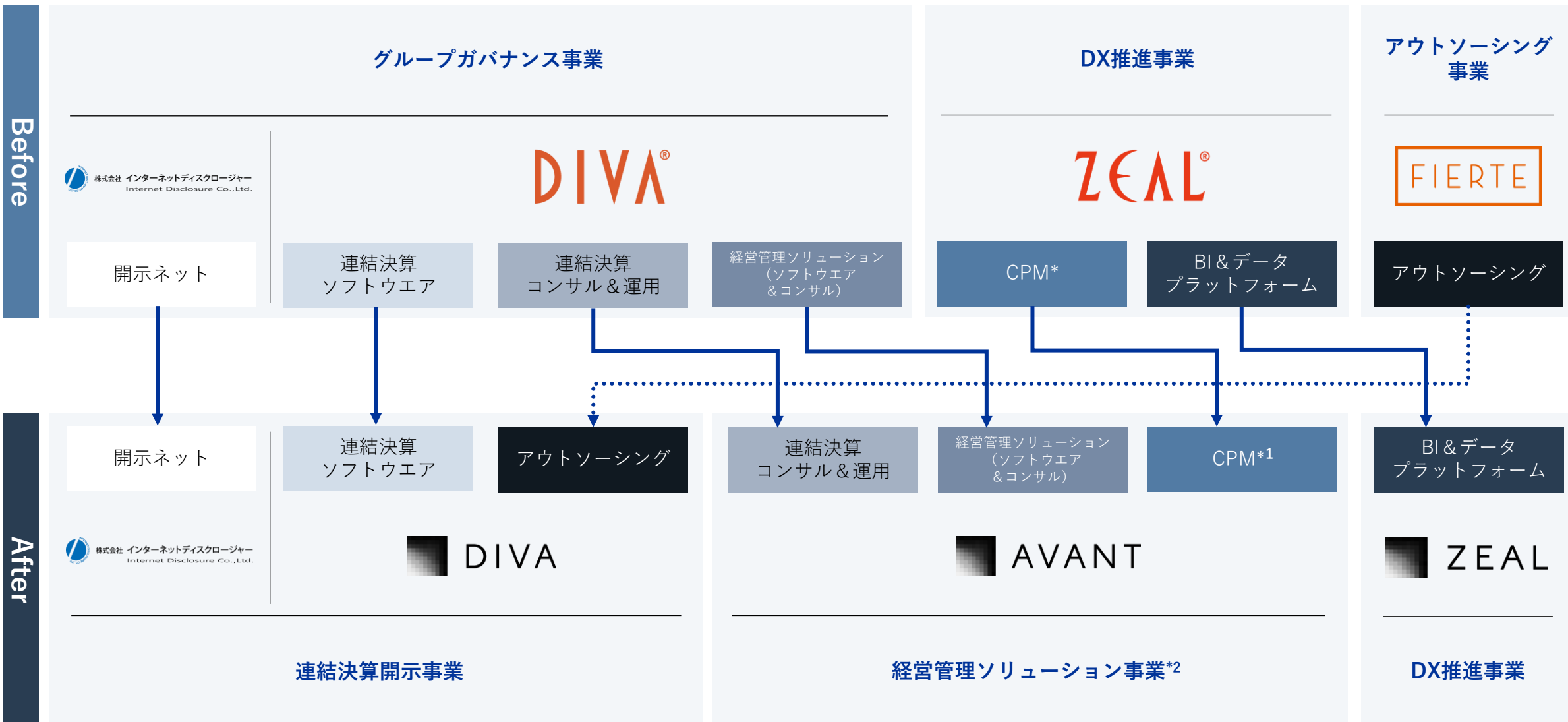
■コーポレート  
ガバナンス・コード  
(2015年6月～)

■グループ・ガバナンス  
実務指針  
(2019年9月～)

■東証より「資本コスト  
や株価を意識した経営  
の実現に向けた対応」  
の要請 (2023年3月～)



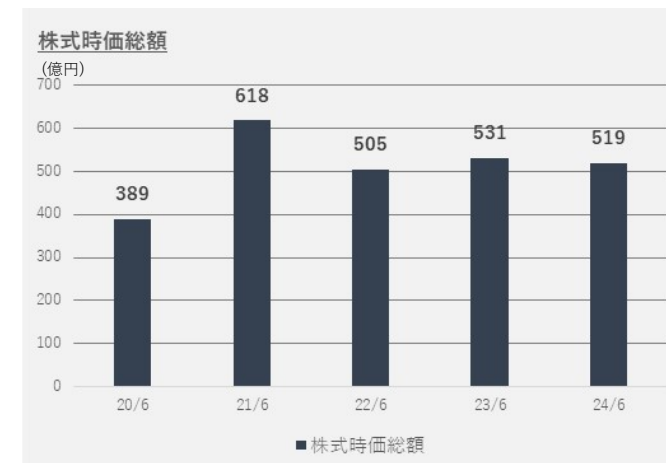
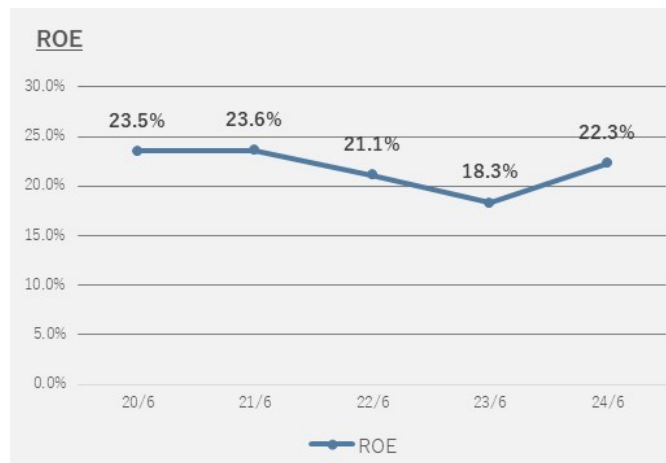
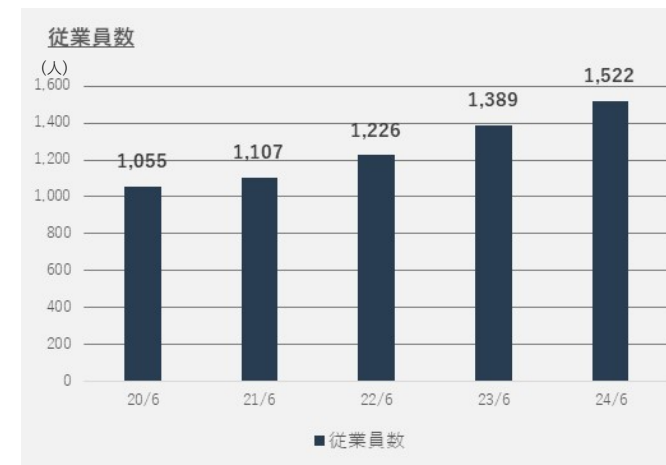
# 新セグメントへの組み替えについて



※1 CPM : Corporate Performance Management

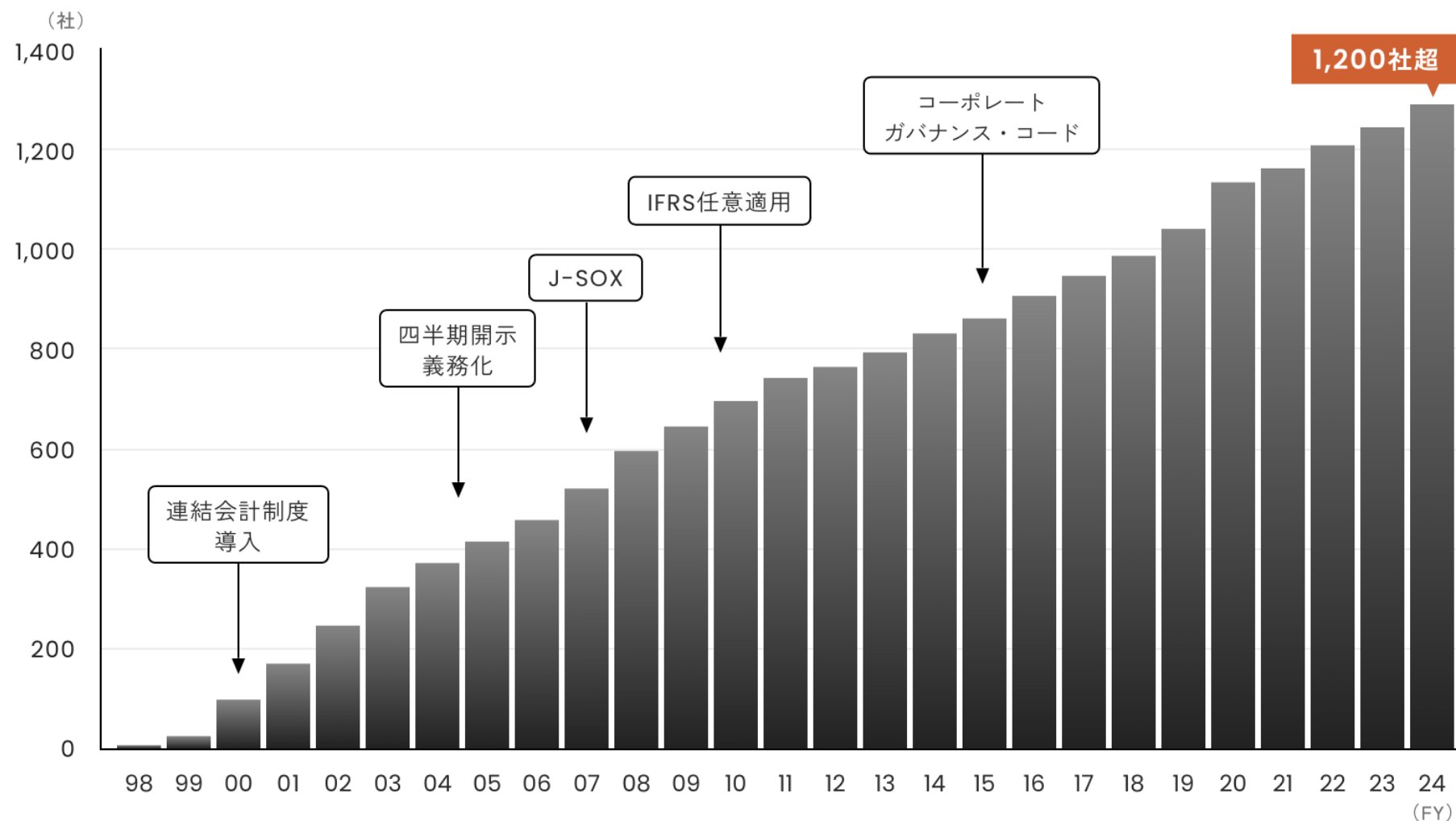
※2 2025年第2四半期から株式会社VISTAが経営管理ソリューションセグメントに追加されています

# 数値で見るアバントグループ



# アバントグループ ソフトウェア製品導入企業の推移

- ディスクロージャー規制強化に伴い、連結会計システムLCAが導入数をけん引



# 連結会計システムLCAの顧客基盤（時価総額別シェア）

- 販売実績は1,100社以上※1
- 2023年度連結会計ソフトウェア市場シェアは43.8%※2
- 制度会計から予算・管理会計等、企業のガバナンス強化をサポート



※1 2024年6月末時点

※2 富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場 2023年版」連結会計管理ソフト 市場占有率推移<パッケージ>（2023年度実績）

## 将来見通しに関する注意事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断によるものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

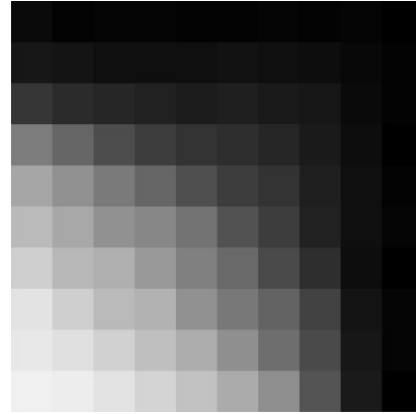
当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみを全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製または転送などを行われぬようお願いいたします。

お問い合わせ先

株式会社アバントグループ IR室

[ir@avantgroup.com](mailto:ir@avantgroup.com)





AVANT GROUP

SUSTAINABILITY IS VALUE